

豊かな自然が育む
温かい心、
そして明日へ。



象 潟 町
広 報

9

平成17年
2005
No.606



生の歌声で「象潟小唄」を踊る



8月11日、町民体育館で開催された島倉千代子ショー。「象潟小唄」を生の歌声で踊りたいという町民の願いがかなう。
＝関連記事＝ 2・3 ページ＝

今月の主な記事

- 島倉千代子ショー…………… 2～3
象潟町連合婦人会創立50周年…………… 4～5
記念式典開催
アスベスト除去作業始まる…………… 6
サンロックオーヨド解体工事

今月号は成人式の集合写真を掲載しているため、閉じ穴を開けておりません。ご了承ください。

象潟は空手道競技の開催地



君のハートよ位置につけ
秋田わか杉国体
2007 第62回国民体育大会

Information

■ご案内■

慶 弔

7月16日～8月15日届け出分
●広報に掲載を希望しない方は、届け出のとき住民係へお申し出ください。

門 出

秋庭 真樹さん(28 区)
齋藤 みゆきさん(仁賀保町)
木谷 雅士さん(鳥の海2区)
岡田 智都世さん(由利本荘市)
伊原 慶人さん(武道島2区)
八坂 ゆかりさん(由利本荘市)

うぶ声

高橋 来未くん(一弘美)桜ヶ丘
荒生 みらいちゃん(昇)小砂川1区
齋藤 桑々子ちゃん(貢綾子)横岡
齋藤 望結ちゃん(光晴佳代子)松ヶ丘
五十嵐 花恵ちゃん(和穂まゆみ)駅前
秋田 恭弥くん(浩幸純子)荒古屋
佐々木 愛梨ちゃん(亘裕香)中橋町
吉川 実玖ちゃん(廣一由香里)34区
齋藤 健樹くん(孝行久美)横岡

お詫びと訂正

先月号「うぶ声」欄で、齋藤健樹くんのお父さんの名前が「孝雄」さんとなっておりましたが、「孝行」さんの誤りです。お詫びして訂正します。

おくやみ

梶原 トシエさん(90歳)潟見町1区
奥山 ハルエさん(82歳)大砂川
佐藤 アサ子さん(75歳)大森
齋藤 吉三さん(62歳)長岡
山崎 黎一さん(74歳)横町
兵藤 茂さん(67歳)下新町
青木 慶助さん(78歳)29区

人口・世帯の動き

平成17年7月末現在
世帯数 4,077 (2) < - 10 >
人 口 12,830人(- 3) < - 142 >
男 6,138人(- 8) < - 87 >
女 6,692人(5) < - 55 >
※() 内は前月比、< > 内は前年同月比
転入… 22人(170) 出生… 7人(54)
転出… 22人(243) 死亡… 10人(93)
※() は1月からの累計

9月の在宅当番医

4日・池田医院 (☎43-3106)
11日・加藤医院 (☎35-2543)
(仁賀保町)
18日・象潟駅前皮フ科 (☎43-5252)
19日・金病院 (☎43-5522)
23日・木村医院 (☎43-3308)
25日・伊藤医院 (☎43-4171)
診察時間は午前9時～正午です。
一町医師会—
※変更の場合の問い合わせは、役場
か消防署(☎38-2310)へ



元オリンピック選手

萩原智子さんの
スイムクリニック

期日 9月25日(日)
場所 B & G 海洋センター
参加料 無料
第1部 午前9時～10時30分
対象 小学生 定員 70人
第2部 午前11時～午後0時30分
対象 小学3年生～中学生、一般
定員 70人
申し込み・問い合わせ先 B & G
海洋センター (☎43-6490)
※詳しくは、広報と一緒に配布されたチラシをご覧ください。

問い合わせ

役…役場 ☎3200
保…保健センター ☎7501
公…公民館 ☎2229
体…町民体育館 ☎8855
郷…郷土資料館 ☎2005
B…B & G 海洋センター ☎6490

9月のこよみ

3 土	・第32回東北総合体育大会空手道競技会(町民体育館～4日) 体 ・青空市(JA象潟町支店 12時～)
4 日	・全町防災避難訓練(6時～)
7 水	・カン収集日(ボックス)
9 金	・ビン収集日(指定袋)
11 日	・第44回衆議院議員総選挙投票日 ・第31回300歳野球大会 体 ・職場観音ナイターソフトボール大会 体
13 火	・青空市(JA象潟町支店 12時～) ・ペットボトル収集日(指定袋)
14 水	・夜のアクアビクス教室(B & G 19時～) B
15 木	・敬老のつどい(象潟地区)
16 金	・敬老のつどい(上浜・上郷地区) ・金婚式
18 日	・秋季大清掃(6時～)
19 月	・燃えるごみ収集休み ・歩こう歩こう会 なべっこウォーキング(中島台) 体 ・第17回象潟奥の細道少年剣道大会 体
21 水	・カン収集日(ボックス)
23 金	・ビン収集休み ・青空市(JA象潟町支店 12時～)
25 日	・第22回町民ゲートボール大会 体
27 火	・ペットボトル収集日(指定袋)
28 水	・燃えないごみ収集日(指定袋)
30 金	・象潟町閉町式(15時～) ・固定資産税3期納期限 ・国保税3期納期限

秋田県太鼓フェスティバル

日 時 9月11日(日)
午前10時30分～
場 所 町民体育館
入場料 無料

B & G 海洋センター
敬老の日 無料開放
B & G 海洋センターでは、9月19日(月)の敬老の日は、65歳以上の人(自己申告)に無料で開放します。

「にかほ市」職務執行者に
巴徳雄 仁賀保町長

平成17年10月1日から由利郡仁賀保町、同郡金浦町および同郡象潟町を廃し、その区域をもってにかほ市を設置することに伴うにかほ市長職務執行者に、地方自治法施行令の規定に基づき、関係町長で協議した結果、合併協議会会長を務める巴徳雄仁賀保町長が選任されました。

合併50周年記念 会場内に



▲昭和52年のコンサートの際、花束を手渡した遠藤久美さん（当時小学3年／旧姓＝阿部）も駆けつけ、当時の思い出を語りました

島倉千代子ショー

象潟小唄

踊りの輪



▲総勢214人の踊り手で会場全体が象潟小唄一色に染まりました



象潟町合併50周年記念事業として、島倉千代子ショーが8月11日、町民体育館で開催され、生の歌声の『象潟小唄』に合わせて踊るという、町民の夢が実現しました。同ショー実行委員会（佐々木平嗣委員長）が中心となって企画し、踊り手も214人が集まりました。

本町の夏の風物詩・盆踊りは、『象潟小唄』の輪踊りが定番となっています。この曲は、観光地・象潟を全国にPRしようと、昭和33年に観光協会が中心となって創ったものです。作詞は本町横町の結柴宗人（本名・結柴宗雄）、作曲は古賀政男、歌は島倉千代子でした。

以来、この曲は半世紀近くたった今でも、多くの町民に愛され、歌い、踊り継がれてきています。ぜひ島倉さんの生の歌声に合わせて踊ってみたいという声が上がリ、合併50周年記念事業として実施されました。

シヨイを開催するのは、昭和52年以来、2回目です。実は、島倉さんは昭和52年のシヨイでも『象潟小唄』を披露していますが、ほとんど覚えていないため、今回のシヨイに合わせてカラオケをつくり、練習してきたのです。また、町民の踊りをシヨイに組み入れるため、踊り手の代表者・渡邊ミ子さんに、島倉さん自身から打ち合わせの電話が入るなど、町民の熱意が伝わった思い出深いシヨイとなりました。

『象潟小唄』は、第2幕で披露されました。町内の名取りたちがステージ上の島倉さんの後方で、また町民有志の踊り手たちは思い思いの衣装に身を包み、館内フロアの通路をステージに向かって踊りました。

1度歌い終えた島倉さんは「4番まである歌詞を3番ま

でにしようかと思いましたが、歌詞の内容からいってカットすることができませんでした。もう一度歌いますから、踊る皆さんももつとにこやかに踊りましょうね」と、2回歌う大サービス。

踊り終えた渡邊さんに、島倉さんがマイクを向けると、「もう本当に幸せ。一生、象潟小唄を踊り続け、もつともつと広めていきたい」と、興奮した面持ちで答えていました。



◀コンサート後、町内の中学生が出した手紙にさっそく、本人直筆の返事が届きました。島倉さんご本人も象潟でのシヨイを楽しんでくれたようです

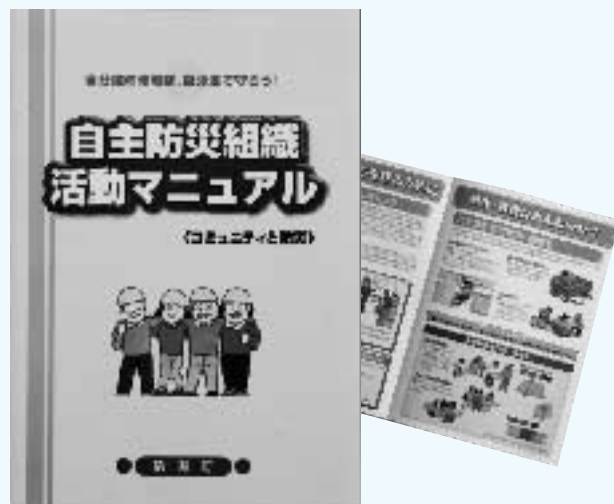


「象潟小唄」CD、DVDが完成

町では、同じく合併50周年記念事業として、象潟小唄のレコードのCD化、踊りが収録されたDVDを製作しました。

CDは9月中旬、各町内に1枚ずつ配布し、DVDは公民館で管理します。なお、貸し出しについては、町社会教育課（☎43-2229）にお問い合わせください。

自主防災組織 活動マニュアル完成 ～「いざ」というときに役立つ～



このほど町では、「いざ」というときのための『自主防災組織活動マニュアル』を作成しました。

大災害が発生したときには、町では防災関係機関と綿密な連絡をとりながら、全力をあげて防災活動を行います。しかし、道路の寸断、建物の崩壊、断水、停電、同時多発の火災など悪条件が重なると、防災関係機関だけでは活動には限界があり、十分な対応ができなくなることが予想されます。

このようなときにこそ頼りになるのが、「自分たちのまちは、自分たちで守る」といった精神に基づき、地域の皆さんが自主的に結成された自主防災組織です。

本マニュアルには、自主防災の必要性や平常時・災害時の活動内容などが具体的に解説されています。本広報と一緒に全世帯に配布されていますので、ぜひ目を通し、普段から目の届くところに備えるようにしてください。
問い合わせ先 町民課生活環境係
(☎43-7500)



《式辞から一部抜粋》
組織力と行動力で
地域社会に貢献
会長 神原サクエさん

連合婦人会は、昭和30年の旧象潟町・上浜村・上郷村が合併したことを受け、それぞれの旧町村に存在した地域婦人会が一つになって創立されました。

当時の婦人会は、戦後の混乱期を乗り切り、ようやく女性の地位向上と民主化への足掛かりをつかんだ時期でした。そして間もなく、高度経済成長期を迎え、女性の社会進出が飛躍的に向上し、女性の労働力が日本の経済発展に大きく貢献しました。

心豊かで思いやりのある、明るく元気で住みよいふるさとに成長するように協力していかねければなりません。これから、3町婦人会も合併して組織力が強化されます。将来に向かって思いやりの心を大切にし、組織力と行動力で地域社会に貢献できる、頼りがいのある団体として婦人会の役割を果たしていかなければならないと思っています。

▶創立50周年を記念して盛大な式典が開かれた

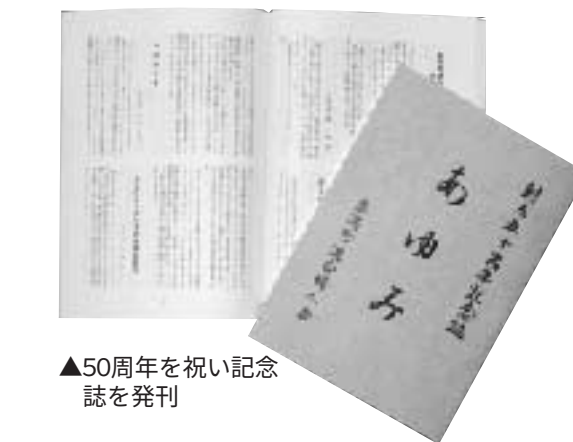


▲10年以上婦人会役員として務めた会員に感謝状が贈られた

式は、参加者全員による町民歌斉唱で幕を開け、会の発展に尽くした方々に感謝状の贈呈がありました。感謝状が贈られたのは、加藤キヨさん(28区)、佐々木セイさん(荒古屋)、池田眞子さん(上荒屋)、伊藤栄子さん(中ノ沢)、齋藤ナツさん(上浜の町)の5人です。

引き続き、神原会長による式辞のあと、横山町長、渋谷県議らの祝辞が述べられ、創立50周年を祝いました。

連合婦人会は、年齢、職業、政党、宗教等に関わりなく、「婦人」という共通の立場で、住みよい社会をつくるために活動する自主的組織です。



▲50周年を祝い記念誌を発刊

町連合婦人会が創立50周年 新たな歴史の一步を踏み出す

今年で創立50周年を迎えた象潟町連合婦人会(神原サクエ会長/会員131人)の記念式典と祝賀会が8月28日、町公民館を会場に開かれました。

合併時の昭和30年に地域婦人会が合併し、現在の連合婦人会が誕生しました。町内15の支部で構成され、女性の地位向上と生活改善運動に大きな力を発揮してきました。

10月には3町の合併を控えています。連合婦人会では、会員がさらに一致団結し、協働のまちづくりと男女共同参画社会の実現に向け、行政のより良きパートナーとして新たな歴史の一步を踏み出します。

戦没者等のご遺族の皆さまへ

「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金」制度をご案内します。

1. 特別弔慰金制度

本年は終戦60周年にあたることから「戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法」が改正され、この度、戦没者等のご遺族に対し改めて特別弔慰金が支給されることとなりました。

2. 支給対象者

平成17年4月1日現在、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法の遺族年金等を受ける方（戦没者等の妻や父母等）がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に第8回特別弔慰金が支給されます。

戦没者等の死亡当時のご遺族で

- (1) 戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- (2) 戦没者等の子
- (3) 戦没者等と生計関係を有していた(Ⅱ)父母(Ⅲ)孫(Ⅳ)祖父母(Ⅴ)兄弟姉妹
(戦没者等と生計関係を持っていなかった方、平成17年4月1日現在、婚姻で姓が変わっている方、遺族以外の方と養子縁組をしている方は除かれます)
- (4) 上記(3)以外の(Ⅱ)父母(Ⅲ)孫(Ⅳ)祖父母(Ⅴ)兄弟姉妹
- (5) 上記(1)から(4)以外の三親等内の親族
(戦没者の死亡時まで、引き続き1年以上生計関係を持っていた方に限られます)

※戦没者等の子や兄弟姉妹など、同じ順位の方が複数人の場合は、そのうちの代表者お一人が特別弔慰金を請求することになります。その際、請求者以外の同順位の方は、請求同意書の提出が必要となります。

※第6回および第7回特別弔慰金を請求された方等（請求後に亡くなった方の場合、同順位の方かご家族の方）には、9月2日までに案内通知を送付いたしますが、同日まで案内通知が届かなかった方等で 支給対象になると思われるご遺族の方は、役場福祉課福祉係にご相談ください。

3. 支給内容

額面40万円、10年償還の記名国債

4. 請求期間

平成20年3月31日まで

5. 問い合わせ・請求書提出先

町福祉課福祉係（☎43-7501）

第17回「ふるさと象潟のつどい」町民参加者を募集

首都圏に在住する本町出身者が年1回集い、近況などを語り合い交歓する「ふるさと象潟のつどい」を次のとおり開催します。

ふるさとを離れた友人や親戚の懐かしい顔に会える絶好の機会です。町民の皆さま、お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。なお、旅費は自己負担となります。

日時 11月27日(日) 午後1時～4時（受付：正午～）

会場 東京都台東区民会館（浅草）

会費 5,000円（象潟からの参加者限定）

申し込み先 10月21日(金)まで町企画課（☎43-7510）へ



▲昨年のふるさと会も盛大に行われた

アスベスト除去作業始まる

株サンロックオーヨド工場解体

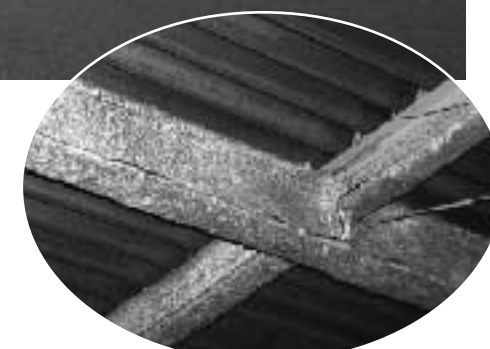
株サンロックオーヨドでは、今年3月に閉鎖したキサカタ工場を解体するにあたり、工場内に、いま社会問題化している「アスベスト」が使用されていたことから、住民への説明会が開催されました。



▲今年3月閉鎖したサンロックオーヨド・キサカタ工場



▲床にも天井から落ちたと思われるアスベストが見られた



▲天井に張り巡らされた鉄骨にアスベストが使用されていた

今回、解体作業に入るサンロックオーヨドでは、北側工場の一部にアスベストが使用されていることが確認されました。

町では、サンロックオーヨドと解体業者の大道商事株（兵庫県）に対し、作業が始まる前に地域住民に、工事の全体概要、アスベスト除去の作業内容の説明会を開催するよう依頼しました。

8月10日に公民館で開かれた説明会では、解体業者の担当者から次のような作業手順等が示されました。

- ・振動に対しては、重機の操作を丁寧にするよう作業員に指導する。
- ・粉じんに対しては、防じんシートの設置および散水設備を配備しての防じん用散水を徹底する。

また、解体業者では、石綿飛散防止対策の効果を第三者機関である環境測定会社測定を依頼し、環境周辺の保全がなされているかを数値的に確認しながら作業を進めていきます。

工事は、8月22日から作業に入り、11月30日に終了する予定です。

《アスベストとは》
アスベスト（石綿）は、繊維状で不燃・耐熱性に優れ、耐久性、耐摩耗性などの特性を持つことから、建築の壁や天井などの防火・耐熱、吸音性などを確保するため幅広く用いられてきました。

特に、吹付け石綿は昭和30年ごろから使用し始められましたが、セメントなどの含有量が少ないことから、飛散性が高く、昭和55年以降は使われていません。

大気中に漂っているアスベストを長期間吸い込むと、石綿肺、肺がんなどの健康への影響を及ぼすことが確認されています。

こうしたことから、大気汚染防止法の一部が改正され、アスベストの飛散を防止するために必要な作業基準が定められ、一定規模以上の吹付けアスベストを使用している建築物の解体・改修などの工事は平成9年4月1日から届け出が必要になりました。



▲解体業者による住民説明会を開催（8月10日／町公民館）



象潟町成人式



▲式には、中学校時代の恩師も出席し、教え子の成長した姿を喜んでいました
▶記念事業では、中学校時代の運動会や合唱コンクール等の模様を上映。幼く感じられる姿に照れ笑う声が聞かれました



17年度の町成人式が8月15日、公民館で行われました。本年度の対象者は、昭和60年4月2日から61年4月1日までに生まれた男性73人、女性84人の計157人です。当日、式には男性58人、女性71人の計129人が出席しました。式では、横山町長が成人者を代表して齊藤良輔さん（大塩越）に成人証書を手渡した後、「新生『にかほ市』が誕生する記念すべき年に、成人式を迎えられたことは、大変有意義なことです。社会をより良いものに変えるためには、皆さんの若いパワーが必要です。夢と情熱を持って実践していくことを期待します」と式辞を述べました。

また、齊藤恵さん（水岡）が、「新しく『にかほ市』が誕生するが、象潟町の良さを失わず『夢あるまち 豊かなまち 元気なまち にかほ市』となるよう努力する」と誓いのことばを述べました。



▲新成人誓いのことばを述べる齊藤さん
◀横山町長より新成人を代表して成人証書を受け取る齊藤さん

● 環境保全団体へ寄付

T D K 平沢支部 サマーフェスティバル 05

T D K 平沢支部では、地域の環境保全活動に積極的に取り組んでいる九十九島の松をまもる会（齋藤昭治郎代表）と鳥海山にブナを植える会（須田和夫代表）への支援を考え、8月5日に開かれた「サマーフェスティバル'05」への参加者に協力を呼びかけて、両団体へ活動資金として寄付しました。

同フェスティバル参加者からの寄付は昨年に引き続き2回目で、両団体では、「今年の寄付金は活動資金としてとても助かりました。今回の寄付金も有効に使わせていただきます」と感謝していました。



▲8月24日、役場庁舎内で両団体にT D Kから寄付されました

● 象潟の自然を満喫

ふれあい体験親子塾

8月3日、4日、東京・浅草から小学生ら7家族と馬道地区町会連合会役員など19人が参加して、象潟ふれあい農林水産業体験親子塾が開催されました。

3日のお昼ごろ到着した一行は、奈曾川河川公園での昼食後、象潟町の小学生と水遊びや輪投げなどで交流。その後、ミニトマトや枝豆、じゃがいもなどの収穫、秋野菜の苗植えに挑戦しました。

ほかにも海水浴やザリガニ捕りなど、東京ではしたことのない体験をし、夏休みの楽しい思い出をつくりました。



▲今回のツアー後、参加者が楽しかった思い出を新聞にして、送って来てくれました

● 手作りの提灯を子供会に贈る

下荒屋町内会

8月9日、下荒屋町内会の老人クラブ（佐々木正一代表）は、同町内子供会に手づくりの提灯を贈りました。

これまで、子供育成部（中村八郎代表）と老人クラブでは、モチつきや里イモの収穫などの行事で交流を図ってきましたが、そのお礼の意味を込めて、お盆の迎え火送り火で使ってほしいと作られたものです。

提灯は子どもたち一人ひとりに手渡され、子供たちは「ありがとう」とお礼を言いながら、うれしそうに受け取っていました。



▲提灯を手に老人クラブと記念写真

★秋田県体育指導委員功労者表彰



佐藤みどりさん
（武道島2区）

佐藤さんは、長年、体育指導委員として、町民の健康づくりに努め、各種教室の指導など幅広い活動に尽力しています。

● 自転車ぶらり旅〜秋田県内を一周〜

佐々木鉄寛君（象潟小6年／下荒屋）

象潟小6年生の佐々木鉄寛君が、8月8日に自転車で行った本町を出発し、秋田県内一周に挑戦。同12日に無事に自宅へ戻り目標を達成しました。

「周りのだれもがやらないようなことをやりたかった」と今回の自転車旅行を決行した鉄寛君。国道7号を北上し、能代から鷹巣、阿仁、田沢湖、横手、本荘、象潟という約400kmのコースを一人、自転車で通ってきました。

宿泊は、寝袋での野宿や予約をしていない民宿への素泊まり。食事はコンビニや旅先で見つけた食堂など、特に計画も立てない旅路。鉄寛くんは「途中、岡山県から旅行にきていたおばさんに朝食をこちそうになったり、神奈川からのおじさんに自転車のサドルを調整してもらったり、知らない人との出会いがありました。阿仁から田沢湖に抜ける峠がきつかったし、家の人にも心配をかけたけど、とても楽しい夏休みになりました」と満面の笑みで思い出の旅行の話をしてくれました。



▲県内1周を終え、無事に帰ってき鉄寛君。少したくましくなったかな

クイズ 広報でさがせ！正解者

先月のクイズの当選者は次の4人の方です。
（敬称略）

佐々木祐輔（はまなす）、阿部春子（鳥ノ海2区）、
佐藤カツ子（本郷）、佐々木實（由利本荘市）

先月号の答え

(日)511点

(月)57秒20

(火)快樂亭ブラック

みんなのひろば

青春まつただなか

vol. 30

本郷 齋藤 喜則くん (19歳)
— 製造業勤務 —



野球で全国大会へ出場したい

趣味は

「野球です。小学校のときから始め、今でも町のクラブチームでプレーしています」

夢はありますか

「野球で全国大会に出場することです。郡大会、県大会とハードルは高いですが、ぜひかなえたいですね」
今年成人式を迎えましたが

「もうすぐ20歳になりますが、酒とタバコはほどほどにします」

好きな女性のタイプは

「大人の女を感じさせる人です。芸能人で言うと真鍋かをりのようなタイプかな」

ほたけはげんきツズ

8月28日、町内の公園にお母さんと一緒に遊びに来ていた元気いっぱい二人。

かけっこ大好き！
幼稚園の運動会で1等賞になったんだよ



多田 歩矢ちゃん
(5歳・下荒屋)



池田 純菜ちゃん
(4歳・武道島1区)

砂遊びがお気に入り。この前、うちから見える鳥海山をつくってみたの

元気でEメール

母なる地象潟、父なる島小笠原



飯田 玉樹さん
(東京都小笠原村父島在住
=32区出身・33歳
〈旧姓=竹島〉)

象潟町の皆さんお元気ですか？私は今、東京から1,000km南の太平洋上、小笠原諸島父島で暮らしています。天気予報のテレビ画面で言うと、右下に出ている所です。人口約2,000人、面積24km²の小さな島です。映像を学んだ学生時代、島を撮ってみたいと訪れたのが最初でした。以来海の碧さが忘れられず、再び小笠原に渡り4度目の夏を迎えました。

島は一年の大半が夏模様、原色の花々が咲き乱れ、紺碧の海にはイルカの群れが遊びます。ちょうど今は、卵から孵ったアオウミガメが、大洋に旅立つ季節です。冬になると、遠く北の海からザトウクジラが子育てにやって来て、目を楽しませてくれます。

離島の暮らしには、不便さも付き物です。島と本土を結ぶ定期的な交通は、週に一遍、片道25時間半の小笠原丸だけです。船が港に入ると、商店には一斉に生鮮食料品が並びますが、数日すると品切れは当たり前。本などは通販が頼りです。島に来て間もないころ「島では物を買おうなんて考えてはいけない、手で作れる物は何でも作るんだ」と、漁師さんが鉛を溶かして道具をこしらえているのを見て、嗚呼これが島の暮らしなのだ、と思ったものです。

ときには厳しくもある、南の海洋島での暮らしです。海に映える夕陽を見ては、この海は日本海に繋がっている。もうすぐ象潟でも陽が沈むな、美しいだろうな、と、母なる地に想いを馳せて頑張っています。

潮騒句会

蝸の山里駆ける郵便夫 金子与志
かなかなや観光客の引きし寺 須田喜代子
かなかなや子が沈みゆく腕の中 佐々木雪子
竿燈の妙技は一人舞台なり 佐々木洋二
朝顔の花数かぞえ児の日課 須藤作男

短歌会

夏の日の荒磯の青く澄む海に 佐々木勉
潜りて岩牡蠣を採る漁夫が見ゆ
下刈り機止めて憩へば蝉時雨 斎藤治雄
しばしひたりて汗をかはかす
生きてゐる者の務めと涼やかに 金啓一郎
魂棚かざりお盆を迎ふ
ぬけがらを庭木に残し朝光に
羽音さやかに蝉の飛び立つ 佐々木ミキ
終戦の想ひもあらた八月の 伊藤スエ
先祖の墓を時かけ洗ふ



ジム&マーシャのフリーノート

See you at the pool!

プールでお会いしましょう！

I have really enjoyed my experience in Kisakata. One experience I continually enjoy it being at the B&G Swimming Pool.

First a friend invited me to go to aqua-aerobics with her. The class is on Mondays at 12:30. I was so exhausted my first time I could hardly walk out the door. But I kept coming back and found myself getting stronger each time. I liked exercising with other people and with music. The teachers are very helpful too.

Next a friend invited me to go swimming with her. After a couple of visits I thought, "I better buy a six month ticket. It is only 5000 yen. If I swim very much I will save a lot of money."

I think Kisakata has a lovely pool. You don't have to know how to swim, you can water walk. If you want to learn how to swim it is never too late. They have lessons for all ages, even for babies.

See you at the pool!



▲マーシャはプールがお好き！

私は、象潟での体験を心から楽しんでいます。私が継続的に楽しんでいるものの一つは、B&G海洋センターの各種教室に参加することです。

初めは、ある友人と一緒にアクアビクスをしようとしてくれました。はじめてのとき、私はあまりにも疲れきって、やっとの思いで外に出ました。でも、何度も参加しているうちにその都度、強健になっている自分に気づきました。私は、皆さんと一緒に音楽に合わせて運動することが好きです。先生方にはとても助けていただきました。

次に、友人と一緒に泳ぎに行こうと誘ってくれました。2、3度行くうちに私は考えました。「半年の会員券を購入した方がいいわ。それだとわずか5,000円だし、何回も来ればかなりの節約になるわ」と。

象潟には素晴らしいプールがありますね。泳げない人でも、水中ウォーキングができます。泳ぎ方を習うのに、遅すぎることはありません。すべての年齢の人たち、たとえ赤ちゃんでさえ、レッスンを受けられます。プールでお会いしましょう！（マーシャ）

保健

▼献血にご協力を
 期日 9月2日(金)
 日程 午前10時～11時30分(三浦電子)、午後1時～2時30分(象潟病院)

夜のアフアピクス教室
 参加者募集

毎月1回開催の教室です。プールでどんな運動をしたらいいのだろうと思っている方、気軽に参加ください。

日時 9月14日(水)
 午後7時～8時

場所 B&G海洋センター
 対象 一般

内容 ▽腰痛予防水中ウォーキング ▽お腹まわりを使う運動
 参加費 受講料 1,000円
 (8回コース)

利用料 1回につき350円
 申し込み・問い合わせ先 B&G海洋センター(☎43-6490)

みんなで歩こう歩こう会
 「なべっこウォーキング」開催
 日時 9月19日(月) 午前9時役場玄関前出発(役場バス)

定員 35人
 コース 紅葉の中島台
 参加費 400円(昼食代・保険料)
 申し込み・問い合わせ先 9月15日(木)までスポーツ振興課(☎33-8855)へ。

福祉講演会を開催

日時 9月10日(土)

午後1時30分～4時

場所 仁賀保町総合福祉交流センター「スマイル」

講師 宮原伸二氏(関西国際大学人間学部人間行動学科教授)

講演テーマ 「地域で支え合う健康・福祉のまちづくり」

主催 郡社会福祉協議会
 問い合わせ先 町社会福祉協議会(☎43-2543)

特設人権相談所を開設

日時 9月13日(火)

午前10時～午後3時

場所 象潟町公民館
 相談内容 近隣関係、土地・建物の権利および登記、相続、不動産の賃貸借

問い合わせ先 町民課(☎43-7500)

秋田県特産品開発
 コンクールの作品募集

応募資格 県内に事業所がある企業、組合、各種団体、グループ及び個人

募集対象 販売を目的として、1年以内に新たに開発された商品で、県内で製造・加工、または最終工程が県内で施され、同一物品が再生産、販売可能なもの

応募締切 9月24日(土)

応募方法 出品希望の方は、商品工観光課に備え付けの申込書を用い、次にお申し込みください。

問い合わせ先 象潟小学校教頭 佐々木(☎43-2334)
 ※上履きをご持参ください。

町議会 9月定例会日程

8月12日発行のお知らせ版に掲載した議会日程が次のとおり変更となりました。

期 日	内 容
8月31日 水	・本会議(開会・諸般の報告・行政報告・議案説明)
9月1日 木	・本会議(一般質問・議案質疑・常任委員会付託)
2日 金	・常任委員会
5日 月	・常任委員会
6日 火	・常任委員会
7日 水	・本会議(委員長報告・委員長報告に対する質疑・討論・採決・閉会)

※若干変更になる場合もありますので、詳細については議会事務局(☎43-7511)へお問い合わせください。
 議会は、皆さんが傍聴することができますので、気軽においでください。

自衛官等
 募集・説明会のご案内

◆航空学生・一般曹候補学生・曹候補士・2等陸海空士
 説明会 9月4日(日) 午後1時30分
 「鶴舞会館(由利本荘市)」

募集締め切り 9月8日(木)
 ◆看護学生・防衛大学校・防衛医科大学校
 説明会 9月9日(金) 午後5時～
 9月21日(水) 午後6時
 「鶴舞会館(由利本荘市)」

募集締め切り 9月30日(金)
 ◆防衛大学校(推薦)

書道展示会

「景聖展」開催

次の内容で、書道展「景聖展」が開催されます。ぜひご観覧ください。

期間 9月16日(金)～18日(日)
 時間 午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

場所 町公民館大ホール
 問い合わせ先 友の会会長・須藤(☎43-2989)

申し込み・問い合わせ先
 〒010-0001 秋田市中通2-3-8 アトリオンB1(財)秋田県物産振興会(☎018-836-7830)

男性料理・エプロンコンテスト
 参加者募集

対象 県内在住の男性(個人またはグループ)
 募集内容 ▽料理のテーマ「私の得意なこのイッピン」▽

1人前800円以内、調理時間は1時間を限度

注意事項 作品は未発表のオリジナル料理に限ります。ま

た、応募料理のネーミングを含めたアイデア権、著作権は主催者に帰属されます。
 募集期限 9月20日(火)
 応募方法 応募用紙(町企画課備え付け)に必要事項を記入のうえ、作品・エプロン姿の写真を添えて郵送
 応募・問い合わせ先 〒010-8570 秋田市山王4丁目1-1 秋田県男女共同参画課(☎018-860-1556)

お忘れになっていませんか
 町県民税2期分、国民健康保険税2期分の納期限は8月31日(水)でした。いま一度ご確認ください。納税は、便利な口座振替をご利用ください。
 問い合わせ先 町税務課徴収係(☎43-7502)



広域情報

由利本荘市

◆「八朔(はっさく)まつり」

日程 9月10日(土): 午後6時30分～9時40分
 11日(日): 午前9時45分～午後5時

場所 矢島地域一円

問い合わせ先 市商工会矢島支所(☎56-2206)

◆「秋田馬子唄全国大会」

期日 9月10日(土)

時間 午前8時45分～午後6時

場所 農村環境改善センター(大内地区)

入場料 500円(中学生以下無料)

チケット販売・問い合わせ先

市大内教育事務所生涯学習課(☎65-2210)

◆「天鷲ワインまつり」

期日 9月11日(日)

時間 午前11時30分～午後3時

場所 亀田町内(岩城地区)

内容 岩城地区特産のプラムを原料としたワインやゼリーなどを使い、さまざまなアトラクションやゲームを開催。

参加費 前売/1,500円

当日/1,800円

チケット販売・問い合わせ先

(有)天鷲ワイン(☎74-2100)

忘れ物がありました

8月11日に行われた「島倉千代子ショー」で町民体育館にざぶとん、ハンカチ等の忘れ物がありました。お心当たりのある方は町企画課(☎43-7510)までご連絡ください。